

第 105 回古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜市南部地域・栄区その 8」

ふじやま公園古民家歴史部会員

長谷川 一郎

平成 28 年 3 月 9 日(水) 「大船駅東口～白旗神社ほか」

*集合：大船駅東口(バスターミナル) 9 時 50 分厳守同時出発(バス移動：②乗場)

(1)行 程：下記「探訪場所」に同じ。

(2)食事場所：自由行動

(3)探訪先：栄区役所「栄の見どころ」、「栄区歴史散策マップ」などを参考にした。
大船駅東口＝バス＝宮前下車、スタート。

- ① 三島 神社：飯島町 2780、飯島町の鎮守。
創建は、元和元年(1615)の勧請と風土記にあり。
祭神：大山祇命天照大神、大国主命。
- ② 般若 院：飯島町 2153、真言宗の寺。「五鈷鈴(ごこれい)」という古い時代の鈴が寺宝として保管されているというが、社屋は神社らしくない。
- ③ えんま 堂：飯島町 1656、延宝 3 年僧最岸が開帳。
- ④ 飯島市民の森：昭和 47 年、市内 17ヶ所の第 1 号として指定された。
- ⑤ 白旗 神社：市民の森の頂上付近に、石祠 2 個があるだけで、神社らしくない。
由来等は不詳。社名から源氏に縁の神社とも考えられるが、土地の古老の話では、藤沢白旗神社の分社とのことだった。
- ⑥ 正安 寺：長沼町 667、臨済宗の寺、創建年等不詳だが、古くは天台宗の寺で、あったが、時の住職が親鸞に帰依し貞永元年(1232)浄土真宗に改宗、更に北条の弾圧で、円覚寺の末寺となり、臨済宗長沼山正安寺となって難を逃れ現在に至った。
- ⑦ 八幡 社：長沼町 784、創建慶長 10 年(1605)と伝う。長沼町の鎮守。
祭神：第 15 代応神天皇。
- ⑧ 大わらじ：(横浜市有形民族文化財) 大正初期に農事研究や勉学に集り、救心会と名付けて活動していた青年たちが、ここに生えていた松の大木に、長さ約 5m ほどの大わらじを吊るし道祖神に奉納したのが始まりである。前を走る列車からも見えて大変有名になったらしい。現在のわらじは全長 3.5m、幅 1.5m、重量約 200 kg で、3 年毎に作り変えている。

バス停・南谷(みなみやと)＝バス＝大船駅東口(解散)

歴史探訪
横浜市南部地域・栄区その8

第105回 3月9日(水)

大船駅(バス) → 宮前バス停
→ 三嶋神社 → 般若院 → 飯島
市民の森神社 → 正安寺 → 長沼
八幡社 → 南谷戸の大わらじ →
南谷バス停(バス) → 大船駅



バス時刻表			
11:24	36	49	
12:02	15	28	

バス時刻表	
9:55	
10:14	

